

## 「地方分権21世紀ビジョン懇談会」の開催

総務省では、総務大臣主催の「地方分権21世紀ビジョン懇談会」を開催し、21世紀の地方分権のビジョンについて検討を始めます。

### 1. 背景・目的

今回の三位一体の改革後の将来の地方分権の具体的な姿をビッグピクチャーとして描き、それを実現する抜本的な改革案を議論するため、総務大臣のもとに懇談会を開催します。

### 2. 検討内容

- (1) 地方の自由度の拡大のための改革（道州制を視野に入れた国と地方の役割分担の見直し等）
- (2) 地方の責任の明確化のための改革（破たん・再建法制の検討等）
- (3) 国と地方を通じた財政健全化のための改革（中期地方財政ビジョン等）
- (4) 地方行革の推進（地方自治体の資産・負債管理等）
- (5) 不交付団体の増加目標
- (6) 制度の簡素化・透明化

### 3. 構 成 員

別紙のとおり。

### 4. 開催期間

平成18年1月から開催し、概ね半年の開催を予定しています。

第1回会合は、平成18年1月中旬頃開催の予定です。

お問い合わせ先

連絡先：総務省 自治財政局 財政課

（担当：佐藤課長、丸山参事官、大井課長補佐）

電 話：03 - 5253 - 5613（直）

F A X：03 - 5253 - 5615

## 別紙

### 構成員名簿

(五十音順・敬称略)

いのせ  
猪瀬

なおき  
直樹

作家

おおた  
大田

ひろこ  
弘子

政策研究大学院大学教授 (座長)

こばやかわ  
小早川

みつお  
光郎

東京大学大学院法学政治学研究科教授

しまだ  
島田

はるお  
晴雄

慶應義塾大学経済学部教授

ほんま  
本間

まさあき  
正明

大阪大学大学院経済学研究科教授

みやわき  
宮脇

あつし  
淳

北海道大学大学院法学研究科教授

## 歳出歳入一体改革の検討を支える体制について

経済財政諮問会議資料

平成 17 年 12 月 20 日



- 経済財政諮問会議における歳出歳入一体改革の審議に資するため、「歳出歳入一体改革タスクフォース」を置く。同タスクフォースのメンバーは民間4議員及び伊藤元重(東京大学)、井堀利宏(東京大学)、徳百合(日本経研)とする。
- 同タスクフォースの下にワーキング・グループ(WG)を設ける。各WGのメンバーは担当民間議員、民間有識者とする。各WGの主査は民間議員、副主査は民間有識者とする。